

2018-2019年度 連合愛媛運動方針

1. 基本的な考え方

私たちを取り巻く状況は決して容易なものではない。だからこそ、今一度、結成の原点を見つめ直す必要がある。いつの時代も労働運動は、より良い職場、より良い社会に向けた変革の原動力でなければならない。一方で、置かれている諸課題の克服をはかるはめに、未来志向のもと、様々な取り組みに果敢にチャレンジする姿を組織内外はもちろんのこと、世論にも訴えていかななくてはならない。

その先頭に立つ連合愛媛に結集する私たちには、組織力、政策力、発信力にいつそう磨きをかけ、諸先輩たちが築き上げてくれた連合運動を継承し、更にパワーアップした形で、次代を担うリーダーやすべての働く者のために、連合運動をつないでいくことが求められている。

次の2年間で、連合愛媛結成から30年の節目の前に、役員はもとより職場の組合員に至るまで、より多くの仲間運動への参画を呼びかけ、「組織の活性化と政策・制度の実現」に磨きをかけ、次の飛躍に向けた自力を強化する期間とする。そのため、2年間の取り組みの検証も踏まえ、「働くことを軸とする安心社会」に向けた流れを加速させる。その上で、連合本部方針を基本に地方特有の課題等も意識し、向こう2年間の取り組みについて各項目に沿って運動を進める。

2. 2018-2019年度の重点課題

- (1) 「組織拡大」を進め、3年後の「5万連合愛媛」実現に全組織が結集し、社会連帯を高め、次代の運動への橋渡しとなる2年とする
 - ・「5万連合愛媛」達成に向けた組織拡大の戦略と体制の強化をはかる。
- (2) 非正規労働者・未組織労働者・若年の支援と労働相談センター設置による対応強化
 - ・労働組合を知るきっかけとして、インターシップの受け入れを検討する。
 - ・次代を担う若年層（青年・女性委員会）への労働相談教育機会を強化する。
- (3) 働くことを軸とする安心社会に向けた政策・制度実現の取り組み
 - ・「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」を通じ、街宣・街頭行動を継続し、世論喚起に努める。
- (4) 労働条件の底上げ・社会的横断化の促進とディーセント・ワークの実現
 - ・春季生活闘争や通年的な労使協議を通じ、労働条件の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をはかる。
- (5) 男女平等社会の実現に向けた取り組み
 - ・連合「第4次男女平等参画推進計画」（2013年10月～2020年9月）を着実に実行する。
- (6) 政策実現に向けた政治活動の強化
 - ・向こう2年間に実施される各種選挙で、連合愛媛は一丸となって推薦候補者全員の当選に取り組む。
- (7) 国際貢献・国際交流・連帯活動の取り組み
 - ・労働運動の視野を広げるために、海外視察（工場見学・意念交換等）を行う。